

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

10月号

令和元年10月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第364号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/事務局長 横井 悟

新渡戸稲造記念センター開設記念 「第2回新渡戸稲造記念シンポジウム」開催される

東京医療生活協同組合常任理事・新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

令和元年8月18日盛夏、第2回新渡戸稲造シンポジウムが中野サンプラザで開催され、「新渡戸稲造記念センター」樋野 興夫センター長による「21世紀の新渡戸稲造～がん哲学外来の心得～」の講演とともに、女子教育にも尽力された新渡戸稲造博士に縁のある東京女子大学と恵泉女学園の2名のシンポジストの先生方をお招きし、ご講演を頂きました。東京女子大学茂里 一紘学長から「新渡戸稲造が遺したもの」と題して、初代新渡戸学長より脈々と百年間継承されているSS精神を中心としたご講演を、恵泉女学園宗雪 雅幸理事長から「新渡戸稲造先生の贈り物」と題して、新渡戸先生のお人柄や学園創設者の河井 道との師弟の交流を、様々なエピソードを交えつつ、お話いただきました。

茂里学長は、新渡戸稲造博士が遺された「いと小さき者」という言葉が東京女子大学の学風を作っていると語り、「学校記章に表す『犠牲と奉仕の精神』(SS精神)があって初めて、二足歩行の動物が人間たり得る」と第一回卒業生に寄せた式辞のエピソードを紹介されました。また、新渡戸先生は、高等なる常識を養いつつ、女性が社会の一員として良き市民であるための教育「liberal education」を提唱・実践され、創立百周年を迎えた今日も、形を変えて「自由」というキーワードで同窓生の中に脈々と息づいているとお話されました。

宗雪理事長は、河井 道との出会いから、新渡戸先生のお人柄そのものが非常にユーモアに満ちていたこと、人知れず女学園設立に覚悟の支援を行っていたことなど、具体的なエピソードを紹介されました。河井 道が奨学金の

留学をきっぱりと断り、「アメリカ帰りの人で私の尊敬する人は誰もいないからです」と答えると、新渡戸先生は「私もその一人ですか?」と言われ大笑いになったそうです。しかし留学途上では、「アメリカで学ぶべきことは本や大学だけではなく、むしろ大学の壁の外にある」など忘れられぬ教訓を沢山与えられ、教育者として河井 道の生涯の道しるべになったとのこと。最後に、新渡戸先生の生涯を貫く優しさ、愛、知性、さらにそれに基づく行動の大切さを教わり、「今本当に、新渡戸先生のことを考え、知ることがとても大事なことではないか」と語りかけました。

樋野センター長は、世界共通語であるがんの話題をわかりやすく伝え、がん教育の重要性を訴えるとともに、様々なたとえや切り口で189名の参加者を幾度も笑わせつつ、訪れる人を温かく迎え入れ、その個性を引き出す「がん哲学外来」の極意を、数々の「言葉の処方箋」を随所にちりばめながら聴衆に示しました。そして、「いま再び新渡戸稲造。彼は医者ではないけれども医療組合を創った。医療の世界でも教育の世界でも、そのモデルは、明治以降、新渡戸稲造に勝る人物はいません」と結ばれました。

紙面に尽くせぬ新渡戸稲造博士の志・覚悟・人柄、そしてそのお姿と魂が魅了、心に響いてきた3時間でした。こうした機会を持ったことを主催者として心より感謝申し上げます。



新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

開催予定日 令和元年10月1日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)、11月19日(火)、11月26日(火)
1回あたり約50分(1日4組まで)

予約は下記、新渡戸記念中野総合病院 患者支援センターまで。

電話 03-3382-1507

受付時間 午前8時30分～午後4時30分

組合員の方ならどなたでも
無料で予約できます。



いきいき体操 6 ストレッチ:肩と肩甲骨編 リハビリテーション室 技師長 柳澤 正也

いきいき体操シリーズ6回目。今回は自宅にある棒などを使って、ストレッチを行います。これまでに紹介したストレッチよりも筋肉など軟部組織が十分に伸張されますので、可動範囲が大きくなります。少しずつでも日々積み重ねることで、身体の柔らかさを維持・改善していきましょう。

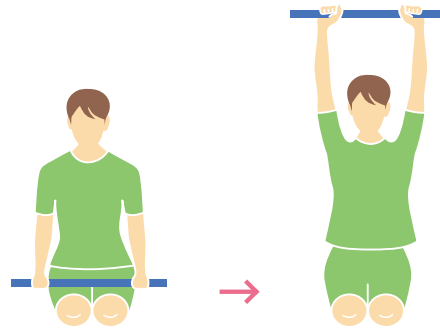
簡単でも無理せず、勢いつけず、呼吸を止めずに「ジワー」といった感じでソフトに伸ばしましょう。「過度なストレッチは逆効果」、まずは1日3回、1回の目安は5分程度から体をならします。例えば、朝は日常生活で体を動かした後、昼は空き時間、夜は就寝前などと日課として時間を決めると習慣になり、継続しやすいです。

ご注意!

ストレッチしてもいいかな、と心配のある方は、必ずかかりつけ医または当院整形外科に受診してから行いましょう。

手を身体の前上げる運動

10回×1セット

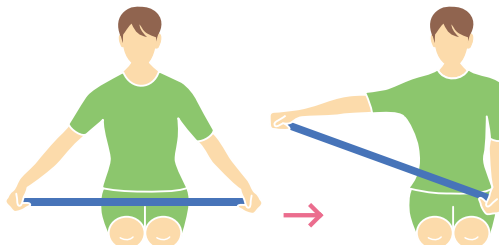


両手で棒を持ち、肘を伸ばしたままで、できるだけ高く手を前に上げます。

身体を後ろに反らせないように!

手を身体の横に広げる運動

10回×1セット



両手で棒を持ち、肘を伸ばしたまま、身体の本横を通るように手を広げます。

インフルエンザ予防接種を開始いたしました

予防接種はインフルエンザを発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。ワクチン接種から実際に効果を発揮するまで2週間程度かかるため、お早めに接種ください。

当院でのインフルエンザ予防接種は予約制となりますので、ご希望の方は1階④番受付、またはお電話にてご予約を承ります。なお中学生以下の方は小児科でのご予約となりますので、小児科外来までお問い合わせください。

予約枠 1日20名

日程 10月1日(火)～12月27日(金)の月曜日～金曜日

受付 15:00～ 接種 15:30～16:00

費用 65歳以上(予診票をお持ちの方) 2,500円
*中野区以外の方は住所地の予診票が必要です。
65歳未満 4,400円(税込)

電話 03-3382-1231(代) 予防接種とお伝えください。
(9:00～16:00/日曜・祝日除く)

*当院では妊婦の方へインフルエンザ予防接種を行っておりません。かかりつけ医にご相談ください。

第20回 抒情コンサートが開かれました



敬老の日にちなみ毎年開かれています“抒情コンサート”が、今年も去る9月14日(土)に行われました。1年に1回のコンサートも今回で20回を数えることになりました。

東京医療生活協同組合総代の渡辺 逸雄様、雅子様ご夫妻による歌唱と演奏をご披露いただき、多くの参加者を得て、盛会裏に終了いたしました。渡辺様ご

夫妻、ありがとうございました。また、今回も飲料をご提供いただきました株式会社サンコー様、紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

皆さん！ 来年もお元気にお会いいたしましょう！

第21回 新渡戸記念中野総合病院 区民健康講座のお知らせ

テーマ **夜間頻尿の話**

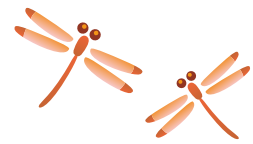
日時 令和元年10月5日(土) 午後2時～3時

講師 新渡戸記念中野総合病院 泌尿器科 部長 後藤 智隆

会場 東京都生協連会館3階会議室

定員 50名(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

参加申し込み先 患者支援センター 連携担当 ☎03-3382-1231(内線211) または総合受付④番窓口



生協組合へのご加入のお願い

担当 新渡戸記念中野総合病院 総務課
☎03-3382-1231(代)

新渡戸記念中野総合病院の母体である東京医療生活協同組合は、「消費生活協同組合」の法人です。この生活協同組合は、組合員の皆様からの出資金が経営の基盤になっています。東京都内にご住所がある

方、あるいは東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。

組合に加入するには、出資申込書に出資金(1口200円、5口1,000円より)を添えてお申し込みください。

10月の小児救急体制



10月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分 診療時間 毎日午後7時～午後10時 夜間受付 ☎03-3382-9991

10月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
		1 多田 光	2 高梨 栄	3 赤松 信子	4 清水 泰岳	5 保崎 明
6 右田 王介	7 小須賀 基通	8 高梨 栄	9 栗津 緑	10 奈良 昇乃助	11 右田 王介	12 清水 泰岳
13 清水 泰岳	14 右田 王介	15 金 慶彰	16 右近 智雄	17 赤松 信子	18 亀井 宏一	19 右田 王介
20 清水 泰岳	21 亀井 宏一	22 右田 王介	23 宇都 ちひろ	24 奈良 昇乃助	25 清水 泰岳	26 清水 泰岳
27 亀井 宏一	28 亀井 宏一	29 細谷 直人	30 村杉 寛子	31 赤松 信子		

さまざまな疾患の患者様に寄り添う混合病棟 2病棟

2病棟科長 平澤 昌子

2病棟は脳神経内科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻科の混合病棟です。脳神経内科、脳神経外科で入院の患者様は退院調整が必要となることも多く、在宅スタッフを交えた退院前カンファレンスを積極的に行うなど、ご本人、ご家族に寄り添い、不安なく退院できるようにサポートしたいと考えています。

皮膚科は帯状疱疹^{ほうかしきえん}、蜂窩織炎、耳鼻科は扁桃周囲膿瘍、扁桃摘出術が目的での入院、泌尿器科においては前立腺癌、膀胱癌の手術・化療目的など、さまざまな疾患で入院してこられます。

看護師をはじめスタッフ一同、いつも笑顔をもっと一人ひとりの患者様が安心して入院生活を送れるよう日々努めています。



新渡戸 の 言葉

人間は生きんとする努力で人生を始める。そして自己の存在を永遠ならしめんとする努力で、その最後を冠する。その始めと終わりとの間には、自己の地上での存在を次第に減じ、それを純化し、完成せんとするたえざる努力がある。生まれながらにしてもろもろの美德をそなえ、心静かに、美しい気立をもっている人は幸いである。そのような人の中間の旅路は長くないからである。その人にとって始めと終わりは近い——このような人こそ、もっとも神に似た人である。

昭和8年10月15日付 英文大阪毎日新聞
『編集余録』「人生の始めと終わり」より抜粋

新渡戸 稲造

昭和8(1933)年10月15日午後8時35分(日本時間16日午後1時35分)新渡戸稲造博士は外遊先のカナダの地で急性出血性膀胱炎のため永眠されました。9月1日夫人とともに71歳の誕生日を現地で祝い、間もなくのことでした。翌朝、ニューヨーク・タイムズ紙に死亡記事が掲載されたそうです。終焉の地である、バンクーバーに近いビクトリア市のロイヤル・ジュビリー病院(Royal Jubilee Hospital)には、その中庭に「新渡戸稲造記念庭園」があり、終焉の地を示す石碑と胸像が建てられています。現地の様子は入江病院長の寄稿文「新渡戸稲造博士の終焉の地を訪ねて①-③」(当院HP上のバックナンバーより閲覧可能:2017年度11月号-1月号に連載)に詳しく記されています。

今月の言葉は、鬼籍に入る10月15日の英文大阪毎日新聞に掲載された「人生の始めと終わり」からです。新渡戸稲造博士は昭和4年より同社(現・毎日新聞社)の顧問を務め、『編集余録(Editorial Jottings)』を英文で執筆していました。最期の数日前まで病床で原稿をしたためていたと伝えられています。

多磨霊園にある新渡戸稲造博士の墓地は正門近い7区1種5側にあり、6区との境界には物静かな佇まいで穏やかに微笑む新渡戸博士の坐像が樹木に囲まれて建っています。お墓の入口で丈の低い常緑樹の垣根を抜ける時、さりげなく階段がないことに気づきました。萬里子(MARY)夫人とともに眠る墓碑の右隣に、わずか8日で夭折したご子息遠益(THOMAS)の墓石も寄添っています。ご夫妻で始められ、札幌で50年間続いた遠友夜学校の字には、「遠益の友達」の意もあると先日の新渡戸稲造シンポジウムで伺いました。新渡戸先生のこのころの中で、愛息遠益君は「もっとも神に似た人」として、生涯にわたり生き続けていたのだらうと想います。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄